

# 前時の確認 【実施されたカリキュラム】とは何か

## 1. 草原／南浦論文の紹介

実施・達成されたカリキュラムの概念（プロセスとその要因・影響）と事例を説明する

## 2. カリキュラムデザイン演習

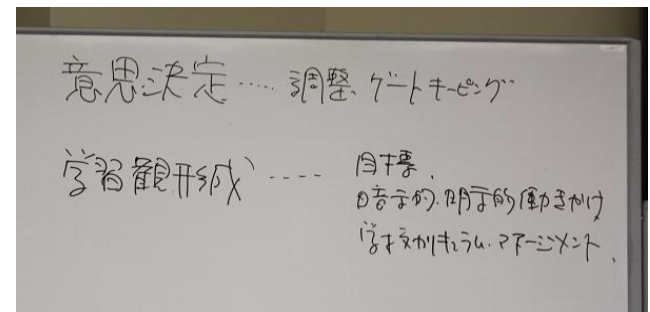
単元構成における教師の意思決定を試行し、そのプロセスを省察する

## 3. 成果発表・投票

「私たちの単元案」の良さと特徴を説明する

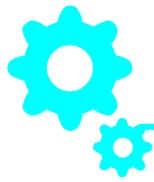


(1) **自分たちでもやってみよう...11:30まで**  
→ 草原論文を参考にして**意思決定を説明**する  
→ 0枚目に、班の名前と発表者の名前を入力する  
→ 1枚目に、**場面設定**(学校が直面する課題、担任学級・担当授業、子どもの状況など)と**教師の教科観**を示す  
→ 2-3枚目に、3-5時間の**目標と指導計画**を示す。毎時の学習課題と学習材の活用が分かるように



## 投票結果

1位	4班	8票	
1位	7班	8票	
3位	2班	6票	



# 投票用紙に書かれていた意見

## 1. 職場トラブル

- ・「いじめ」と「失業」を同じ職場の問題として上手くつなげている

## 2. 白黒決着を避ける

- ・社会の「グレー」に対して考察できる、一貫性があるプランになっている

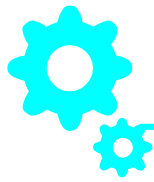
## 3. 労働者の権利

- ・最も社会科の授業らしいと思った

## 4. 冤罪・いじめ

- ・社会と実際（現実世界）の融合をしているところがよかった
- ・授業内で扱う事例が学校を舞台としていて、とてもわかりやすいと思った
- ・（このテーマについて）あまり考える授業経験がない生徒にとっての導入として、教室→社会という段階をふんでいるのがいいと思った
- ・教室と社会全体が連動していたから





# 投票用紙に書かれていた意見

## 5. 中1ギャップ

- ・視覚的に理解しやすそう
- ・入学時に行うのにピッタリだと思いました
- ・メジャーのたとえば非常にわかりやすく、内容が入っていきやすかった
- ・アニメを使うことで子どもの興味をひけると思った

## 6. ドラえもん

- ・他の班（のプラン）は、どこに学習材の活用が表れているかがいまいち分からなかった
- ・ドラえもんのキャラの関係はわかりやすく、社会科だけでなく他の（教科の）時間でも行えると思った

## 7. NIEと意見表明

- ・具体的な活動があり思考過程がシンプルでわかりやすかった
- ・問題解決型で、ロールプレイも活用していたのがよかった

## 4. (白市教諭は)「労働」や「冤罪」のように公民的分野の指導でも当然取り扱う題材には、むしろ手が出せなかったと述べ・・・(中略)「いじめ」は、教師が比較的把握しやすいため、取り上げることにしたという。

白市教諭は地理を教える学年に、突然公民として「いじめ」の授業を入れているので、来年公民を学ぶ子どもたちに「労働」や「冤罪」を先に扱ってしまうのは難しかったと感じる。この「中略」の部分に、『公民分野で扱われる機会の少ない「DV」や「貧困」というテーマであっても、これらは家庭内の問題であり、外に見えることは限られている。』とある。たしかにこれらの内容は教師が把握しにくいのが、だからといって、「いじめ」は教師が把握しやすく、授業で扱っても良いというのは少し疑問だった。

「DV」や「貧困」も「いじめ」と同じくらい大切な社会問題であるし、教師の判断のみで「いじめ」の授業をするか判断し、内容を決めてしまうのは少し危ないと思った。いずれにせよ、生徒にとって身近な問題を学ぶことはとても重要で、意義が大きいが、慎重に扱うことを忘れないようにしなくてはいけない、と改めて感じた。 (U・Sさん)

今回のように特殊な実践をカリキュラムに組み込む場合は、やはり将来の学習内容との重複を避けなければならないことも納得できる。ただ、3年で学習する公民科の内容のちょっとした導入として位置づけ、2年の発達段階に応じた内容構成を心がければ、「労働」「冤罪」を取り扱うことも可能なのではないかと考えた。 (I・Nさん)

### ▶ 白市教師の意思決定への賛否

**3. 子どもの発言に対して実際に「なぜ」と問い返すことで、「理由や背景を踏まえることの重要性」を子どもたちに含ませている**

**4. 意見を述べた時に対する「なるほど」という肯定が、子どもたちにとっては暗にそうした行為の重要性を感じ取らせるものとなっている**

子どもに意見の根拠を尋ね、それを説明できた時に肯定することは、彼らの発言に対する積極性、および説明力を養う上で非常に重要だと思います。【中略】また、先生が肯定の意思を示すことで、「根拠があれば相手の意見を受け入れる」ことの大切さを子どもに伝えることもできます。つまり、「根拠をつけて意見を述べる力」「意見を受け入れる力」は、人間関係を円滑にし、無用な衝突を防ぐことに役立ちます。

柴田先生の心がけは、「社会科教育」の目的である「民主的・平和的な国家の形成者」の育成にとって最も大事なことではないでしょうか。 (W・Uさん)

「そうした行為 (=人の意見を聞いて納得する事)」の重要性を体得するために先生の言葉かけがあったと考えると、先生のすること一つ一つが「教育」になりうるのだな、と感じた。 (I・Nさん)

**▶ 社会科の目標を「学習活動」や「言葉かけ」のレベルで実現することの大切さ**

## 7. 自身の社会科授業だけでなく、学校カリキュラムとしての教育目標との一致をはかること。

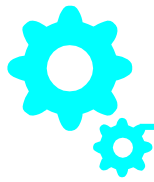
柴田先生は生徒会の顧問で、学校全体と自身の社会科授業を結びつけることが比較的やりやすい立場であった。その結果、子どもたちは柴田先生の考える社会科の「学習観」をより受け入れやすかった。これは柴田先生がこういった立場であったことも大きいですが、学校全体を規模にして、自分の理想の学習観を推進していくということは、あまり考えたことがなかったので興味を持った。

柴田先生のように生徒会の顧問になって、学校全体を動かしていくという機会はあまりないかもしれないが、ちょっとした学校の雰囲気づくり(学習しやすい環境など)やカリキュラムを推奨していくことは可能であると考えた。 (U・Sさん)

これは、その教師の学校内での状況や教師歴によって変わってくると思われるが、一つの視野としてもおきたい考え方であると思った。 (I・Nさん)

**▶ 社会科で学んだことや、社会科で期待される力を発揮できる学校づくり、カリキュラム作りの大切さ**





# 掲示板でのディスカッション (母校の高3生)

## ■活用否定派 (高3生には使えない)

### 進学校の生徒は、こういったテーマには関心を持ってないだろう

私の母校ではおそらく使えないだろうと判断した。その理由のひとつ目が私の母校が進学校だったこと。高校三年生のときにも公民科の授業はあったが、実際行った内容の多くはセンター試験に関係する授業だった。学校側としてはいい大学に生徒を送りたいという思いが強かったのだろうと思う。生徒自身もそのほうがありがたいだろう。私が三年生でこの教材を使った授業をされてもまともに聞けなかったかもしれない。

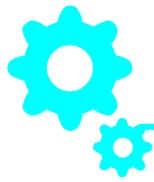
二つ目の理由は生徒の関心の薄さだ。生徒にとって労働問題やDV、貧困というものは今の自分に直接影響するものでもない。いじめも私の学校では私が知る限りなかった。それらの内容を扱ってもセンター試験でいい点数が取れるわけではないと生徒は思うだろう。

(F・Dさん)

### 生徒がこの教材・テーマの意図をうまく汲み取ってくれないだろう

私の母校はいわゆる自称進学校であり【中略】私たち生徒としても、地歴科、公民科を主権者育成の授業であるだとか、未来に活かすことができる授業だとは考えておらず、ただただ与えられた知識を吸収するだけの時間だと考えていました。ですので、今回の学習材を利用し、当事者意識をもって問題解決に取り組みさせるような授業を展開したとしても、生徒がその意図を汲み取って積極的な授業が展開されていくとはとても考えにくく、より受験を意識し始める高3生にとってはなおさら使用できないのではないかと考えました。

(K・Hさん)



# 掲示板でのディスカッション (母校の高3生)

## ■活用肯定派 (高3生でも使える)

### 受験一辺倒の日々だからこそ、普段とは異なるこういう授業を

個人的には受験のための暗記型の授業なんて退屈の極みだと思っている人なので、雇用問題であったり冤罪の問題は受験関係なく授業を受けて考えたかったです。雇用の問題から経済の話も出来るし、冤罪では裁判の仕組みなどにつなげられるのかなと思います。

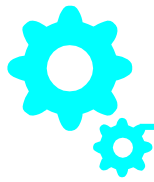
普段の授業と違ったらその時にやったことは普段の授業より印象に残ると思います。関連付けはできるので、受験対策にならないとは言えないと思います。母校なら、行事(体育祭・文化祭)の準備後の授業は普通の授業をやっても睡眠の時間になっていたもので、授業にアクセントをつけられるかと思います。(U・Aさん)

### うちの母校だったら両立できる！

私はこの公民学習材を使った授業を母校で受けてみたいと思います。自分の母校では、高3の時期は受験対策が中心となっている一方、先生方は、大学に進んでいく生徒たちの将来についてもしっかりと考えながら学校生活をつくっておられました。なので、そんな先生方にとっては、非常に実用的な内容を取り扱ったこの教材は、利用価値がとても高いものに映ると思います。もちろん内容としては公民的分野の学習を交えながら、そのテーマには、生徒のこれからの人生を考えての深い意義があるため、教師にとってもそれを受ける生徒にとっても、私の母校においては良い授業になるのではないかと考えられます。

(I・Nさん)





# 掲示板でのディスカッション (母校の高3生)

## ■折衷派 (条件を整えば使うことができる)

### 受験で必要な学習内容との折り合いを上手くつけることができれば...

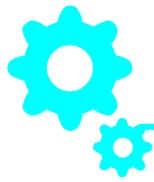
私が通っていた高校はX県の県立高校で、進学率が100%に近い進学校といわれています。【中略】私が配布された学習材で授業を学ぶなら、政治経済において「雇用問題」「冤罪」「貧困(社会問題)」を学びたいです。高校3年生で大学受験対策をしたい時期であったため、その意思を汲み取ってもらったうえで内容理解を深めたいです。

ただ、「目的のための社会科学習」にならないように、NIEやICTを上手く活用してほしいと思います。たとえば「足利事件のような冤罪がなぜ起こったのか?」もしくは「冤罪から身を守るために私たちが出来ることは何か?」というMQを立てて、そこから学習材の知識や内容理解を行いたいです。【中略】

以上が、私の母校で行われるだろう授業の具体的な例です。その場合、公民学習材を高3で学ぶ意味は①授業内容をより理解させるために模式図や学習法が記されているから②問題における解決策を考える段階が含まれていることだと考えます。次にその意義として①社会問題の構造や仕組みを知ること、それに対応できる方法を知る。そして、生徒にとってより幸せになるための決断が出来ることだと考えます。

受験に重点をおいていますが、私の高校は社会科を「内職する絶好の時間」だと思っている友達(私も含めて)が多かったので、当時の私なら、まずはセンター試験対策に近い内容をしてほしいと思います。

(N・Hさん)



# 掲示板でのディスカッション (母校の高3生)

## ■ 折衷派 (条件を整えば使うことができる)

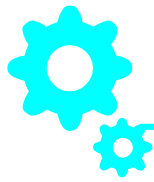
### まだ余裕がある／落ち着いた時期だったら...

私の母校でこの教材を使うとしたら、おそらくある程度授業が進み時間に余裕が出来た時で、なおかつ春先のまだ受験までは時間がある時期だと思う。【中略】私は冤罪事件をテーマに扱った授業を受けてみたい。当時の資料や体験者の手記なども使いながら、「リアルな刑事現場」を授業で再現できればこれから社会に行く上で勉強になると思う。

全員が進学をする学校であったため、受験に重きをおくのが当たり前であったが、社会についての興味を持ってもらうためにはこの公民学習材は大変有効だと思った。「受験のために」授業を受けている生徒が大半だったため、このような授業をして社会に少しでも興味を持ち、社会科を学ぶ意義を見出す生徒が出てきたら暗記科目という批判の声は少なくなるのではないだろうか。  
(S・Kさん)

私の母校は進学校でした。高校3年で公民学習材を学ぶなら「労働を取り巻く社会の仕組み」を取り上げて学びたかったです。ほぼ全員が進学を目指していたこともあり、学習内容が実際の生活に直結するに関してあまり興味を持つことが出来なかったためです。

高校を卒業して進学しても4年後には就職が待っています。進学先が決まった3月ごろでも良いので、労働に関する知識を得る目的だけでなく、法的な知識が自分の生活に強く関わっているという事実を認識する目的でも学習をしたかったです。【中略】実現可能かは別にして時間に余裕のある(私はそう感じました)高校3年3月にこうした学習機会があればいいなと思います。  
(W・Tさん)



# 掲示板でのディスカッション (母校の高3生)

## ■ 折衷派 (条件を整えば使うことができる)

### 短時間の「投げ込み」単元なら...

私の高校(公立)では、高校3年生の時は政治・経済で、当時の先生は教科書をほとんど使わず、自作プリントで活動を交えて行い、とても分かりやすく面白い方でした。丁寧にしてくださる分、一通りの範囲が終了したのがセンター試験一週間前という、スケジュール的にはつめつめの状況でした。【中略】授業自体はそれほど受験を意識していなかったように感じます。このような状況と普段の授業スタイルを考えると、この学習材を使った授業は行いやすく、私たち生徒にとって良い刺激になったのかな、と思います。

そうはいっても時間が限られているので、扱う単元は1単元となり、おそらく「労働」か「冤罪」になるのではないかと感じます。他の単元も想像してみましたが、特に「貧困」は、扱うのは難しいと改めて感じました。

(U・Sさん)

### 総合的な学習の時間なら...

高校3年生の時にこの学習材を使った授業を受けるなら、「雇用問題」について考える授業を受けてみたいです。会社からの不当な扱いとはどのようなものがあるのか、またそれらにどう立ち向かうかをとこのについて具体的な例を見ながら議論を交わしてみたいです。「雇用問題」は私達が大学を出た後、就職をしたら必ずつきまとう問題なので、高校の内にイメージをしておきたかったテーマです。ただ、私の高校の社会科は本当に淡々と事実をまとめていく授業であり、センター試験の範囲をこなしていくので精一杯で、そんなことを組み込めるわけがないので、やるとしたら残念ながら社会科ではなく、総合的な学習の時間に行われていた進路指導で、だと思えます。

(N・Sさん)